

ヘブル語のアラカルト

なぜ、エジプトを「ミツライム」と言うのか

No. 3

なぜ、エジプトを「ミツライム」と言うのか

מִצְרַיִם

● 「エジプト」のことをヘブル語では「ミツライム」
(מִצְרַיִם)と言います。これは「苦惱」を意味する名詞
「メーツアル」(מַצָּרִים)の複数形です。

●その語源となる動詞は「ツアーラル」(צָרַר)で、
「苦しめる、圧迫する、包む、束ねる、狭い、敵視
する」を意味します。このことは、聖書がイスラエ
ル視点から考えられているという良い例です。

イスラエルに対する神の預言

- イスラエルの民にとってエジプトはまさに苦悩の場でした。彼らはアブラハムの子、イツクの子、ヤコブの子らでありながら、彼らに与えられた神の約束が見失われ、エジプトの地にあるゴシェンという狭い場所に閉じ込められ、奴隷として、圧迫されて、苦しめられ、暗闇の中に閉じ込められていたのです。
- しかしそのことはアブラハムに預言されていました。

イスラエルに対する神の預言

【新改訳2017】 創世記15章13～14節

- 13 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。**あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。**
- 14 **しかし**、彼らが奴隷として仕えるその国を、わたしはさばく。その後、**彼らは多くの財産とともに、そこから出て来る。**

モーセに対しても次のように語られます。

【新改訳2017】出エジプト記6章4～8節

4 わたしはまた、カナン^の地、彼らがとどまった寄留^の地を彼らに与えるという契約を彼らと立てた。

5 今わたしは、エジプト^が奴隷として仕えさせているイスラエルの子らの嘆きを聞き、わたしの契約を思い起こした。

6 それゆえ、イスラエルの子らに言え。『わたしは【主】である。わたしはあなたがたをエジプト^の苦役から導き出す。あなたがたを重い労働から救い出し、伸ばされた腕と大いなるさばきによって贖う。

7 わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる。

あなたがたは、わたしがあなたがたの神、【主】であり、あなたがたをエジプト^{での}苦役から導き出す者であることを知る。

8 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓ったその地にあなたがたを連れて行き、そこをあなたがたの所有地として与える。わたしは【主】である。』」

モーセに対しても次のように語られます。

- 6・・ 『わたしは【主】である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役から導き出す。あなたがたを重い労働から救い出し、伸ばされた腕と大いなるさばきによって贖う。
- 7 わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる。あなたがたは、わたしがあなたがたの神、【主】であり、あなたがたをエジプトでの苦役から導き出す者であることを知る。
- 8 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓ったその地にあなたがたを連れて行き、そこをあなたがたの所有地として与える。わたしは【主】である。』」

※エジプトの苦役から「**導き出す**」は「ヤーツアー」(𐎓𐎕𐎗𐎗𐎍)、
「**救い出す**」は「ナーツアル」(𐎓𐎕𐎗𐎗𐎍)、
「**贖う**」は「ガーアル」(𐎓𐎕𐎗𐎗𐎍)、
約束の地に「**連れて行く**」は「ボー」(𐎓𐎕𐎗𐎗𐎍)です。

※ここに「夕があり、朝があった」とする神の歴史における創造があります。この創造が歴史の中で何度も繰り返され、最終的に「朝」で終わり、神と人々が共に住む家に永遠の安息がもたらされるのです。